

Graduation Policy (GP)	
記入者氏名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科名	教育学部
学科・専攻等名	実践臨床教育課程
コース等名	人間教育学コース
細分名	
教育学部の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>学校教育および社会のさまざまな分野において教育の素養をもって貢献できる人材の養成を目的とする。</p>	
教育学部の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1．人間と教育に関わる事象を、問題意識をもって思考、調査、分析することができる。</li> <li>2．自らの思考、調査、分析の結果を適切な方法で表現することができる。</li> <li>3．自らの専門において習得した知識や能力を、実践に活用することができる。</li> </ol>	
実践臨床教育課程の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1．人間教育の意義を常に問い続け、時代を超えた教育の理念とともに時代に応える教育の在り方に関心を持ち、学校教育、生涯教育などの幅広い分野で貢献する意欲を持つ人材を養成する。</li> <li>2．人間に対する愛情と、人間の発達や社会的適応などについて深く理解し心理学的な素養をもって社会貢献を目指す人材を養成する。</li> </ol>	
実践臨床教育課程の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1．人間教育学の専門諸領域の基礎的知識や方法論を修得し、教育に関する問題意識と実践的能力をもって社会に貢献することができる。</li> <li>2．心理学の研究手法、心理学および心理臨床の専門諸領域、心理学研究の実践など、心理学全般にわたる基礎的な知識や方法論を修得し、人間の発達や社会的適応などについて理解できる。</li> </ol>	
人間教育学コースの教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>現代社会における人間形成上の諸問題を分析し、あるべき教育の姿を追究するとともに、学問的裏づけに基づいた教育実践力をもって社会に貢献することができる人間を養成する。</p>	
人間教育学コースの Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	

- 1．教育哲学，教育史，教育社会学，教育方法学，教育制度学，社会教育学，発達諸科学の学問内容および方法を理解する．
- 2．子どもや教育についての問題意識を持つことができる．
- 3．子どもや教育に関して自ら設定した問題について，上記のいずれかの学問領域の研究方法を用いて，分析し考察することができる．
- 4．考察した結果を，口頭あるいは文章によって論理的に表現することができる．
- 5．分析し考察した結果を，学校や生涯教育あるいはその他の社会におけるさまざまな場の教育での実践にいかすことができる．